

「家庭教育支援チーム」

都市化や核家族化、地縁的つながりの希薄化等を背景として、家庭の教育力の低下や孤立化が指摘されるなど、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。それらを踏まえ、文部科学省では、平成20年度より、全ての親が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材を活用した「家庭教育支援チーム」を核とし、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、学習機会等になかなか参加できない保護者への支援手法の開発を行ってきた。

その成果を活用して地域の主体的な取組を支援していくに当たり、各地域の取組状況の把握や、効果的な事例の収集・情報発信による各地域の取組の活性化促進に努めるため、文部科学省として、家庭教育支援チームの登録制度を設けている。（平成27年4月30日現在 123チーム）

【期待される役割】

- ①保護者への情報や学びの場の提供（保護者等に対する主体的な「学び」と「育ち」に関する学習機会の提供や情報提供）
- ②地域の居場所づくり（地域資源を活用した親子参加型の体験型プログラムの実施・情報提供や、日常的な交流の場の提供）
- ③訪問型家庭教育支援（家庭訪問等による個別の情報提供や相談対応）

【大阪府内の「家庭教育支援チーム」の主な活動内容】

市町村	組織体制	活動内容	
泉大津市 (スマイルサポートチーム)	31人	・不登校児童生徒の登校支援(家庭訪問型) ・子育てに悩みを持つ保護者への訪問型支援活動	
交野市 (交野市家庭教育学級友の会 トライアングル)	29人	・年5回の勉強会、年1回の郊外学習、年1回の社会見学 (健康講座、子育てトーク、創作学習(フラワーアレンジメント)、音楽講座等)	
交野市 (ポラリス)	13人	・大阪府教育委員会作成の「親学習プログラム」の提供 ・交野市育児支援家庭訪問事業への協力	
茨木市 (育児サークル「アンファン広場」)	10人	・絵本の読み聞かせ、ベビーマッサージ等親子で楽しめるイベントの実施 ・予防歯科、予防接種や上手な医者との関わり方講座、うち遊び外遊びの紹介等、親育ちに必要なイベントの実施	
茨木市 (親まなび☆きらりん広場)	12人	・子育てサークル、幼、小、中学校の保護者対象の親学習ワークショップの開催 ・高校生対象の親学習ワークショップの開催 ・親学習リーダー育成事業への講師派遣	・発達が気になる子どもの保護者へのサポート ・親学習リーダー交流会での実践報告
箕面市 (親学び♡でこぼこひよろりん)	5人	・地域の生涯学習センター、男女協働参画課、公民館への企画提案、講座を担当 ・PTA人権講座の講師	
寝屋川市 (家庭教育サポートチーム)	7人	・子育てやしつけに悩みや不安を抱く家庭を支援するため、学校に「家庭教育サポートチーム」を派遣 (子育てに不安や悩みを抱え支援が必要な家庭に対して、学校と連携して、訪問・相談活動等を行いサポートする)	